

CO 一酸化炭素検知機能付き
反応式 火災警報器

PLUSCO
ブラッソ

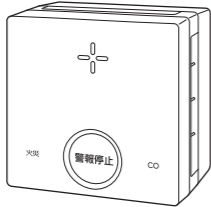
取扱説明書 [保証書付]

型式名 **SC-345**

住宅用防災警報器 (特例基準・CO反応式) 検定合格品
一般財団法人 日本ガス機器検査協会 検査合格品

このたびは、一酸化炭素検知機能付き火災警報器 (以下、警報器という) をお取り付けいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。

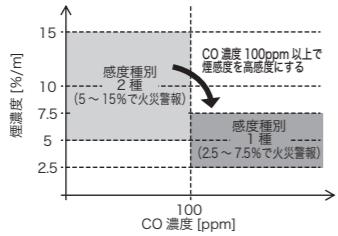
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。なお、万一、本書を紛失されたときは、販売店にお問い合わせください。



- 消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。
- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- ガス漏れ検知機能はありません。
- 火災による煙を感じて音声で警報を発する機能や、住宅で発生する一酸化炭素 (以下、CO) を検知して音声で注意報を発する機能を持っていますが、火災の発生や住宅におけるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災やCOの発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときや、CO検知部にCOが到達しないときは、警報機能が働きます。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な検知になります。万一の火災やCOの発生に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。

CO反応式の住宅用防災警報器について

COを検知した際に煙の感度種別を自動的に切り替えることで煙への感度を高めることができる、特例基準を適用した住宅用防災警報器です。CO反応式の特例基準を満たした本警報器には (特) マークが表示されています。



新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06)6308-2310代
 [北海道] 札幌 (011)231-1101代 [中部] 名古屋 (052)951-2650代
 [東北] 仙台 (022)295-6061代 静岡 (054)255-1901代
 [北陸] 金沢 (076)234-5611代 [関西] 大阪 (06)6308-2310代
 [関東] 東京 (03)5403-2707代 [四国・中国] 岡山 (086)435-5087代
 新潟 (025)365-1390代 広島 (082)568-2800代
 [九州] 福岡 (092)431-1881代

保証書

本書はお取り付け日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による交換をお約束するものです。

警報器型式 **SC-345**

保証期間 お取り付け日から5年間

お取り付け日	年	月	日
お客さま	ご住所		
	お名前		
	電話 () -		
販売店	住所・店名		
	電話 () -		

(販売店さままで必ず各欄に記入して、お渡しください)

新コスモス電機株式会社

TEL (06) 6308-2310 (代)

(裏面をご覧ください)

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 必ず行う 火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 必ず行う 消火が不可能なときは、避難してください。

CO注意報が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命が危険な状態になるおそれがあります。

- 必ず行う 注意報の鳴っている部屋にいたときは、すぐに換気してください。
- 禁止 部屋の外にいたときは、すぐに入室しないでください。

警告

- 分解禁止 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 必ず行う 定期的に (1ヶ月に1回程度) 警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。

- 禁止 衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 必ず行う 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。
- 禁止 ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

注意

- 必ず行う 専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

- 禁止 取付位置を移動させないでください。警報の遅れの原因となります。取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。

- 禁止 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。

- 禁止 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。

- 必ず行う 交換期限を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。正常に動作しないおそれがあります。交換期限は、本体の交換期限記入欄に示しています。

- 水ぬれ禁止 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。

- 禁止 引きひもを引いて警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

2. 各部のなまえとはたらき

- 煙感知部 煙を感じます。
- 警報スピーカー 警報を発します。
- 赤 (火災警報) ランプ 火災による煙を感じると点滅します。電池切れしているときは電池切れ点滅、故障しているときは故障点滅を行います。
- 黄 (CO注意報) ランプ COを検知すると点滅します。
- 交換期限記入欄
- 警報停止スイッチ 警報停止スイッチを操作する★と火災警報音を停止させたり、定期点検を行うことができます。★警報停止スイッチを押すことまたは、引きひもを引いて操作することをいいます。
- 検定合格証票
- 形式認証証票

- 引きひも取付部 付属の引きひもを取り付けて引くことで、警報停止スイッチを操作することができます。(引きひもの取り付け・取り外しは施工説明書を参照)
- CO検知部 COを検知します。
- 特例基準マーク
- 電池収納部 付属の専用リチウム電池を取り付け、収納します。

■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。

点滅	1秒ごとに1回点滅	1秒点滅周期	
故障点滅	10秒ごとに3回点滅	10秒点滅周期	
電池切れ点滅	10秒ごとに1回点滅	10秒点滅周期	

ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

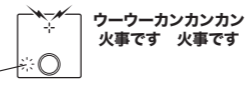
ランプ		音声内容	事象
赤 (火災警報)	黄 (CO注意報)		
消灯	消灯	なし	通常動作 (監視中)
点滅	消灯	火災警報音声 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報
消灯	点滅	CO注意報音声 「ウーウーピッポピッポウー 一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です」	CO注意報
点滅	点滅	火災警報音声 「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」	火災警報とCO注意報
故障点滅	消灯	故障お知らせ音声 「ピッピッピッ 警報器故障です」 (約1時間ごと) 「ピッピッピッ」 (約50秒ごと)	故障 (警報器が故障診断機能で故障と判断した状態)
電池切れ点滅	消灯	電池切れお知らせ音声 「ピッ 電池切れです」 「ピッ」 (約50秒ごと)	電池切れ (警報器の電池電圧が低下した状態)
消灯	消灯	交換期限切れお知らせ音声 「交換期限を過ぎています」 ※警報停止スイッチを操作した場合	交換期限切れ (警報器の交換期限が過ぎた状態)
点滅	消灯	なし	電源投入から30秒間、内部電気回路をチェック中

- ・警報ランプは、それぞれ独立して点灯します。
- ・警報音は、火災警報を優先しています。

3. 警報器のお知らせ機能について

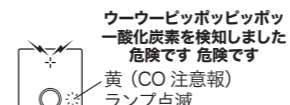
火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると警報を発します。



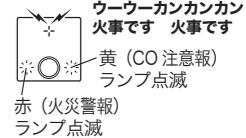
住宅で発生する一酸化炭素 (CO) を検知したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると注意報を発します。



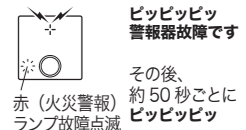
火災による煙と不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

火災による煙とCOを、同時に検知したときも警報を発します。警報音は火災警報を優先します。警報停止スイッチを約1秒操作すると、CO注意報音が鳴ります。



故障しているときは

故障していると「ピッピッピッ 警報器故障です」と鳴り、赤 (火災警報) ランプが故障点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッピッピッ、約1時間ごとに「ピッピッピッ 警報器故障です」が鳴ります。



このとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッピッピッ 警報器故障です」と鳴った後「ピッピッピッ」は停止します。

その後、約50秒ごとにピッピッピッ
約1時間ごとに警報器故障です

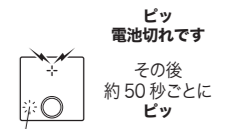
※「ピッピッピッ」の停止中に警報停止スイッチを再度操作すると、「ピッピッピッ 警報器故障です」と鳴ります。

故障状態で煙やCOを検知できず、火災警報・CO注意報動作をしない場合があります。

※ 電池切れまたは故障お知らせ中でも、煙やCOを検知した場合、火災警報・CO注意報を発します (煙感知部、CO検知部が故障している場合を除きます)。

電池が切れたときは

電池切れが近づくと「ピッ 電池切れです」と鳴り、赤 (火災警報) ランプが電池切れ点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッ」が鳴ります。このとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッ 電池切れです」と鳴った後「ピッ」は停止します。



※「ピッ」の停止中に警報停止スイッチを再度操作すると、「ピッ 電池切れです」と鳴ります。

〈自動試験機能〉

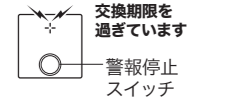
故障または電池切れした場合、自動的に検知し、お知らせします。

おねがい

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。赤 (火災警報) ランプが故障点滅していなくても、1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。(「8.定期点検」参照)

交換期限を過ぎたときは

交換期限を経過してから警報停止スイッチを約1秒操作すると、「交換期限を過ぎています」と鳴ります。



4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』

と鳴ったときの処置のしかた

【赤 (火災警報) ランプが点滅】または
【赤 (火災警報) ランプが点滅と黄 (CO注意報) ランプが点滅】

危険

消火が不可能なときは、避難してください。



必ず行う



火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火



119番への通報



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

おねがい

火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄 (CO注意報) ランプの点滅の有無を確認してください。
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるCO注意報は発しません。

『ウーウーピッポッピッポッ』 一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です』 と鳴ったときの処置のしかた 【黄(CO注意報)ランプが点滅】

注意報音の鳴っている部屋にいるときは

△危険

注意報が鳴ったら、すぐに換気してください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼすおそれがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 COがなくなれば、注意報が停止する。 【黄(CO注意報)ランプ消灯】

3 原因を調べる。

- ふとんなどから火災が発生していないか確認してください。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていないか確認してください。

部屋の外から注意報音に気づいたときは

△危険

注意報の鳴っている間は、部屋の外から、
すぐに入室しないでください。
CO中毒のおそれがあります。



1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を
開けて換気してください。



2 COがなくなれば、注意報が停止する。

3 部屋に入り、黄(CO注意報)ランプの消灯を確認する。

処置をしても、注意報音が鳴りやまないときは

販売店まで連絡する。



3 火災やCO以外で火災警報音や CO注意報音が鳴った ときの処置のしかた

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを操作してください。警報音が停止します。

※ 警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が停止する。

CO以外の空気の汚れで、CO注意報が鳴ったとき

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、注意報が停止する。

※ 警報停止スイッチの操作では、注意報音を止めることはできません。換気を行う
など空気の入れ替えを行ってください。

警報音が鳴ったり、ランプが点灯した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈火災警報・CO注意報共通〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報しやすくなることがあります。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 警報器が結露していませんか。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていませんか。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

〈CO注意報〉

- みりんなどの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- ※ 警報作動原因を取り除いてください。(「9. 故障かな?と思ったら」参照)

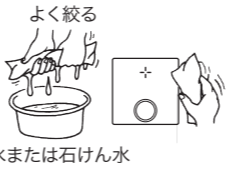
5. 殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは

殺虫剤を使用する際は、警報器を取り外し殺虫剤がかからない場所に置か、ポリ袋で覆ってください。誤作動のおそれがあります。噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。また、ポリ袋で覆った場合は必ずポリ袋を取り除いてください。

6. お手入れのしかた

警報器側面のスリット(煙感知部)にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。
警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- ① 警報器を取り外してください。
(「7. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- ② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取ってください。布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- ③ 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
(「7. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- ④ 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認してください。
(「8. 定期点検」参照)

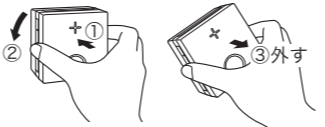


おねがい

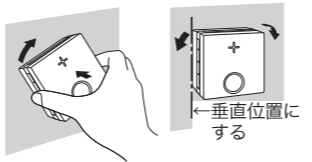
- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- お手入れ後、煙感知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

7. 警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた
押し付けながら、左(反時計回り)に止まるまで回す。
※ 取付ねじ1本で引っ掛けて取り付けている場合は本体を持ち上げて取り外してください。



取り付けかた
本体を押し付けながら、右(時計回り)に回して警報器を固定した後、少し左右に回転させて角度を微調整し、警報器を垂直位置にする。



※ 角度の微調整の際、警報器を左(反時計回り)に回し過ぎて、「カチッ」と音がした場合は、警報器が外れているおそれがあります。

※ 取付ねじ1本で引っ掛けて取り付けている場合は取付板の引っ掛け穴を引っ掛けて取り付けてください。

8. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。

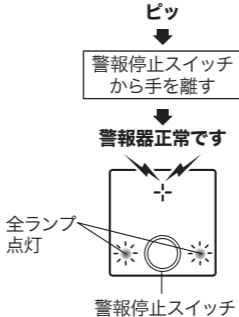
△警告

1週間以上留守にされたときは、必ず警報器が正常に作動するか点検をしてください。

留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。

① 警報器が火災警報・CO注意報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。

- ② 警報停止スイッチを約1秒操作すると「ピッ」が鳴りますので、警報停止スイッチから手を離してください。
- 1) 全てのランプが点灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。
 - 2) 過去10日以内に警報など(火災警報、CO注意報、故障お知らせ、電池切れお知らせ)があった場合、最後に発した警報をランプ表示でお知らせします。(下記〈鳴動原因表示機能〉参照)



〈鳴動原因表示機能〉

警報など	赤(火災警報)ランプ	黄(CO注意報)ランプ
火災警報	1秒点灯	—
CO注意報	—	1秒点灯
故障お知らせ	1秒間に3回点滅	—
電池切れお知らせ	1秒間に3回点滅	—

※ 電源投入後約25分間は、この機能が動きません。
※ 警報器が電池切れまたは故障している場合、この機能は動きません。

9. 故障かな?と思ったら

交換などを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災やCOが発生していないのに、警報音や注意報音が鳴る。	火災以外の煙や、CO以外の空気の汚れが原因ではありませんか? (「警報音が鳴ったり、ランプが点灯した原因について」参照)	室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所の問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
約10秒ごとに赤(火災警報)ランプが点滅する。約50秒ごとに「ピッ」または「ピッピッ」が鳴る。	煙感知部に煙が残っていたり、砂やホコリ、虫などが入っていませんか? 警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッ」警報器故障です」のメッセージが鳴りませんか?	煙感知部にうちわ、ドライヤー(冷風)などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも停止しない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
警報停止スイッチを操作しても動作しない。	引きひもが正しく取り付けられていますか?	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。(「3. 警報器のお知らせ機能について」参照)
専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか?	専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか?	専用リチウム電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。(「3. 警報器のお知らせ機能について」参照)
専用リチウム電池が切れていませんか?(電池切れ警報をしていませんか?)	専用リチウム電池が切れていませんか?(電池切れ警報をしていませんか?)	電池コネクタを確実に接続してください。(それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。
警報停止スイッチを操作しても動作しない。	引きひもが正しく取り付けられていますか?	施工説明書の〈引きひもの取り付けかた・取り外しかた〉を参照し、正しく取り付けてください。

電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態で煙やCOを検知できず、火災警報・CO注意報動作をすることができませんので注意してください。

10. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はお取り付け日から5年間です。保証書をご参照ください。保証書にお取り付け日、販売店名の記入のないものは、無効となる場合があります。お取り付け時にご確認ください。保証書は大切に保管してください。
- 交換期限は機器本体に表示しています。お取り付け時にご確認ください。交換期限を超過した警報器は、規定の濃度で警報しないなど誤動作のおそれがあります。販売店までご連絡いただき、新しい警報器とお取り替えください。
- 警報器に異常がある場合は、交換などを依頼される前に「9. 故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池切れになったときは、販売店にご連絡ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。
- 引越しをされるときは、販売店までご連絡ください。

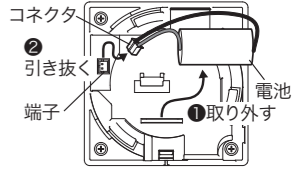
11. 廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法に従ってください。

* 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

古くなった専用リチウム電池の取り外しと廃棄

- ① 警報器を取り外してください(「7. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照)。
- ② 専用リチウム電池を取り出してください。
- ③ 専用リチウム電池を廃棄してください。
 - ※ この製品に使用している電池は、「一次電池(リチウム電池)」です。一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。



△警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。

リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

12. 仕様

項目	仕様
型式名	SC-345
電源	専用リチウム電池 CR17335EG
電池寿命	約10年※1
定格	DC3V、300mA
使用温度範囲	0℃~+40℃(結露しないこと)
寸法	幅75×高さ75×奥行52mm(突起部を除く)
質量	約145g(専用リチウム電池含む)
付属機能	故障お知らせ機能、電池切れお知らせ機能、交換期限お知らせ機能
付属品	取付ベース(1個)、本体に取り付け、取付ねじ(2本)、石膏ボードピン(5本)、引きひも(1本)、取扱説明書(本書1枚、保証書付)、施工説明書(1枚)、専用リチウム電池(1個)
火災警報機能	種別 光電式住宅用防災警報器(CO反応式※2) 感知方式 煙感知方式 型式 電池方式、2種、自動試験機能付 表示・発報方式 即時警報型・自動復帰式 赤(火災警報)ランプ点滅 音声合成音(70dB(A)/m以上)
CO注意報機能	検知対象ガス 住宅で発生する一酸化炭素(CO) 検知方式 電気化学式 作動条件 200ppmのCOに対し、4分以内に注意報 公称作動濃度 100ppm 表示・発報方式 即時警報型・自動復帰式 黄(CO注意報)ランプ点滅 音声合成音(70dB(A)/m以上)

※1 10年間の寿命を保証するものではありません。ご使用環境の温度、湿度、ホコリの量や、点検などのご使用条件によって短くなる場合があります。

※2 CO濃度100ppm以上を検知した場合、感度種別を1種相当に切り替えます。

無料交換規定 (保証書 続き)

1. 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料交換をさせていただきます。
(1) 無料交換をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店までお申し付けください。
(2) お買い上げの販売店に無料交換をご依頼になれない場合には、弊社にご相談ください。
2. 本書に定める保証の範囲は機器本体(専用電池を含む)とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。
3. 保証期間内でも次のような場合には原則として有料交換となります。
(1) 使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。
(2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常温度、異常雰囲気、異常電圧等による故障および損傷。
(4) 一般家庭用以外(例えば業務用設備、車両、船舶など)に使用された場合の故障、および損傷。
(5) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。
(6) 取付場所が不適切で、調理の煙や湯気、ホコリなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
(7) 本書のご提示がない場合。
(8) 本書にお取り付け日、販売店名の記載がない場合。あるいは字句を書き替えられた場合。

4. 本書は日本国内のみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料交換をお約束するものです。ただし、個装箱に記載されている取付期限を過ぎて取り付けられたものは、保証の対象ではありません。
※お客さまにご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料交換対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の対応、引越された場合のご相談などでご不明な点がございますら、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
※ This warranty is valid only in Japan.